



児童数配布

—学校で学ぶ・家庭で生かす・地域を創る—

富士見台

令和4年度 学校評価号
学校だより 543号
練馬区立富士見台小学校
校長 渋井 和子

<http://www.fujimidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

令和4年度 学校評価

校長 渋井 和子

学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。学校評価の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

調査の概要

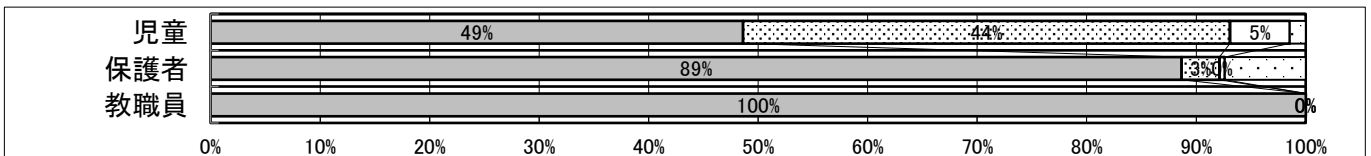
- 1 調査実施期間 令和4年11月30日～12月10日
- 2 対象・回収数 児童 549名・保護者 217名 (回収率 47%) 教職員26名
- 3 回答方法 保護者・教職員
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】【0分からない】の5段階評定
児童
【4そう思う】【3だいたい思う】【2あまり思わない】【1思わない】の4段階評定法
- 4 処理方法 ○設問10項目についての回答を集計し、全体における割合をグラフに表した。
○自由記述について集約した結果を表した。

1 質問についての結果

(1)結果 グラフの内訳は左から【4】【3】【2】【1】【0】割合を示しています。【4】【3】の標語(上記「3 回答方法」参照)を肯定的評価と捉え、肯定的評価の数値は【4】【3】を合わせた割合(%)の数値の合計を指します。

①【児童】授業の学習内容が分かる。

【保護者・教職員】学校は、分かりやすい授業、楽しい授業に努めている。

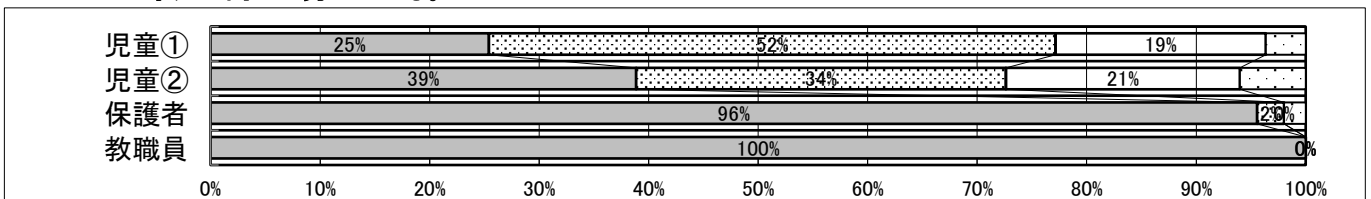


肯定的評価:児童 93%、保護者89%、教職員100%

②【児】①自分からすすんで学習している。(宿題への取組、学びのステーションの利用、授業中の取組など)

【児】②読書時間では、すすんで読書に取り組んでいる。

【保・教】学校は、学力定着を図るための取組(算数少数指導、読書活動、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。

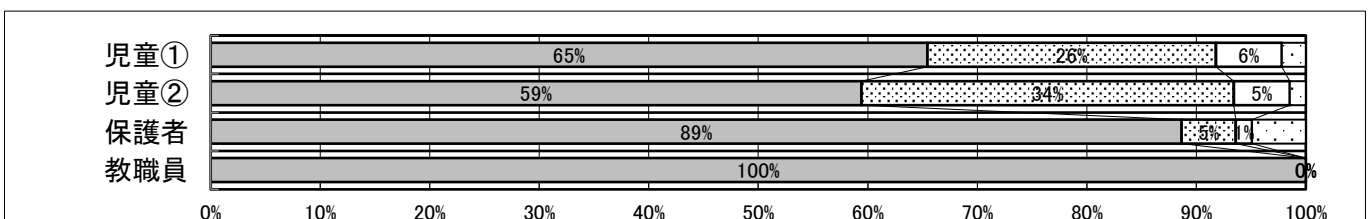


肯定的評価:児童①77%、児童②73%、保護者96%、教職員100%

③【児】①先生や友達に、あいさつをするように心がけている。

【児】②学校のきまりを守ろうとしている。

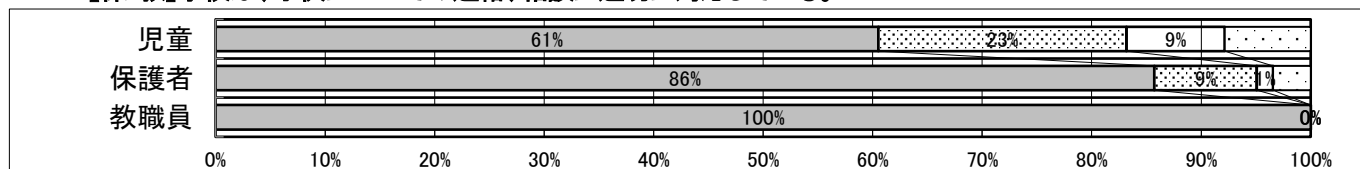
【保・教】学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送るうえで、基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。



肯定的評価:児童①89%、児童②93%、保護者 89%、教職員100%

④【児】学校で困ったことがあったとき、相談できる場所や相談できる先生たちがいることを知っている。

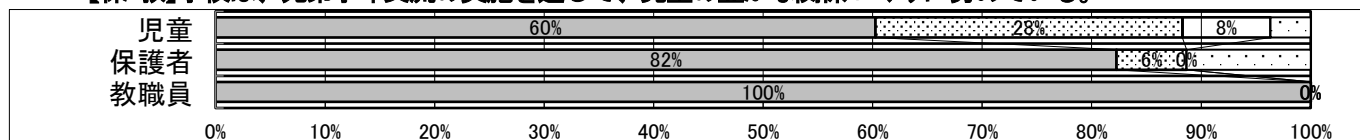
【保・教】学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。



肯定的評価:児童 84%、保護者86%、教職員100%

⑤【児】兄弟学年交流活動で、他の学年の人と知り合いになれた。

【保・教】学校は、兄弟学年交流の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。

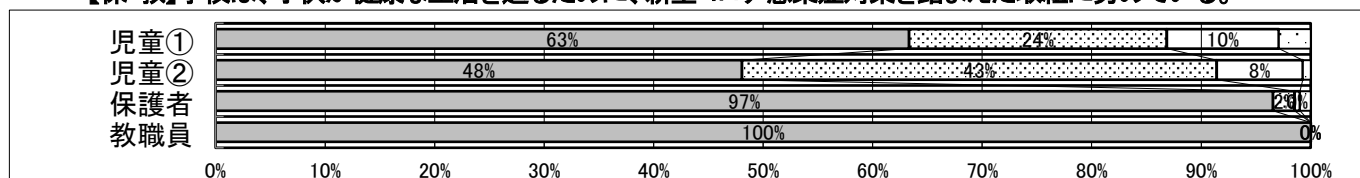


肯定的評価:児童 88%、保護者82%、教職員100%

⑥【児】①体育の時間や外遊びの時間にすすんで身体を動かしている。

【児】②新型コロナウイルス感染症対策として、手洗いや消毒、ソーシャルディスタンスや換気などに気を付けている。

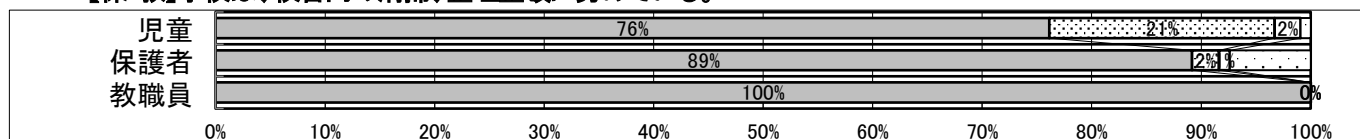
【保・教】学校は、子供が健康な生活を送るために、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた取組に努めている。



肯定的評価:児童①87%、②児童 91%、保護者97%、教職員100%

⑦【児】掃除当番のときは、任された仕事を最後までしている。

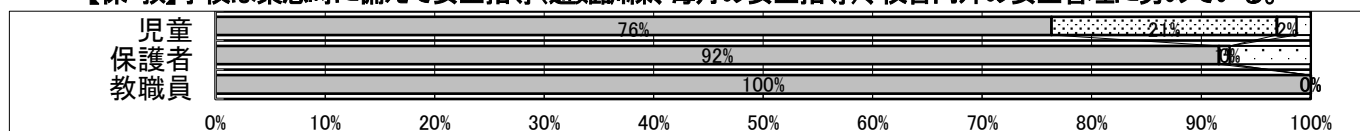
【保・教】学校は、校舎内の清掃、整理整頓に努めている。



肯定的評価:児童 97%、保護者89%、教職員100%

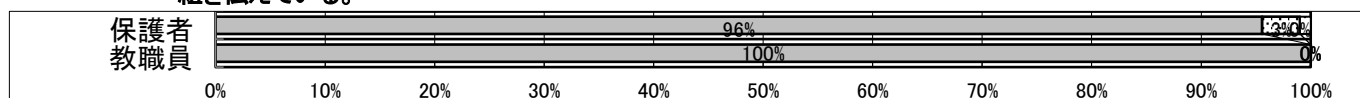
⑧【児】避難訓練に真剣に参加している。

【保・教】学校は緊急時に備えて安全指導(避難訓練、毎月の安全指導)、校舎内外の安全管理に努めている。



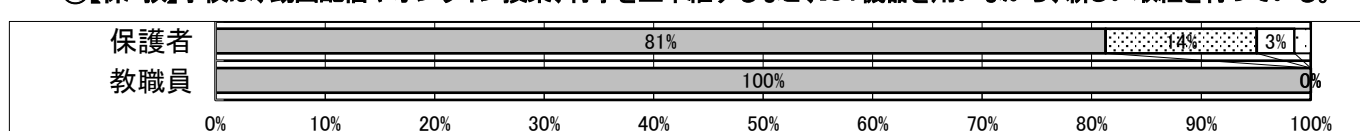
肯定的評価:児童 97%、保護者92%、教職員100%

⑨【保・教】学校は、学校便り、学年便り、ホームページ、保健便り、給食便りなどで、学校参観ツアーなどで、学校の活動や取組を伝えている。



肯定的評価:保護者96%、教職員100%

⑩【保・教】学校は、動画配信やオンライン授業、行事を生中継するなど、ICT機器を用いながら、新しい取組を行っている。



肯定的評価:保護者81%、教職員100%

2 今回の学校評価について

(1) 肯定的評価が高い項目 ○の中の数字は問題番号

| 位 | 児童 | 保護者 |
|---|--|--|
| 1 | ⑦掃除当番のときは、任された仕事を最後までしている。 ⑧避難訓練に真剣に参加している。 | ⑥学校は、子供が健康な生活を送るために、新型コロナ感染症対策を踏まえた取組に努めている。(97%) |
| 2 | (2項目とも97%) | ②学校は、学力定着を図るための取組(算数少人数指導、読書活動、学びのステーション等)を行い、学習意欲や学力の向上に努めている。(96%) |
| 3 | ⑤学校のきまりを守ろうとしている。(93%) | ⑨学校は、学校だより、学年だより、ホームページ、保健だより、給食だよりなどで、学校の活動や取組を伝えている。(96%) |

(2) 肯定的評価が低い項目

| 位 | 児童 | 保護者 |
|---|--|--|
| 1 | ②-2 読書週間では、すすんで読書に取り組んでいる。(73%) | ⑩学校は、動画配信やオンライン授業、行事を生中継するなど、ICT機器を用いながら、新しい取組を行っている。(81%) |
| 2 | ②-1 自分からすすんで学習している。(宿題への取組、学びのステーションの利用、授業中の取組など) (77%) | ⑤学校は、兄弟学年活動の実施を通して、児童の豊かな関係づくりに努めている。(82%) |
| 3 | ④学校で困ったことがあったとき、相談できる場所や相談できる先生たちがいることを知っている。(84%)【昨年度83%】 | ④学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。(86%) |

(3) 自由意見(12名の方が紙面で意見をお寄せくださいました。)

| 項目 | 意見 ○よいところ ●要望 |
|----------|---|
| 教育活動全般 | ○子供たちに目が行き届き、熱心に教育していただいていると思う。(3) ○毎日楽しく学校に行っている。(2) ○子供たちのためにいろいろと工夫してくださりありがたい。コロナ禍でいろいろイベントがなくなったが、子供たちの学びや体験ができるように少しずつやっていただきありがとうございます。 ○担任だけでなく、他の先生方とも接することができてよい。 ○コロナ対策を含め、子供の安全を非常に重視しているところがよい。 ●上級生になるにつれ子供への丁寧な見守りに欠けているように思える。※1 |
| 学習指導 | ○子供が勉強に集中できるように先生が一生懸命授業を見守ってくれる。 ○算数少人数 |
| 生活指導 | ●家庭での指導も必要だが、挨拶は基本中の基本。学校でも強化してもらえると助かる。※2 |
| 学習支援 | ●学級閉鎖時などオンライン授業の配信を全授業でできるようにになるとよい。時間数も増やしてほしい。(2) ※3 |
| 特色ある教育活動 | ○兄弟学年交流をしてくれるので、責任感ももてるようになったと思う。 ●図書委員会児童が読み聞かせを行っているというが、読み聞かせ活動に保護者も参加できるとよい。子供の選書では、対象学年に合っているかなど難しいのではないかと思います。 |
| 学校公開 | ●公開授業の分け方の工夫。授業の前半・後半が同じ。 |
| 情報発信 | ○定期的なおたよりの発信はよい。 |
| その他 | ●年1回の面談以外に学習の取組など相談する機会が少ない。※1 ●コロナが落ち着いたら、今後は校外での活動をもっと増やしてほしい。※4 |

(4) 学校評議員の方のご意見

○教育活動全般

- ・児童も保護者も富士小の教育活動に概ね協力満足していると感じました。私も今後のコロナ状況の悪化等を鑑みますと、ICT 機器への使用に慣れ、オンライン授業の日常化などが必要かと思えます。課題も多く、大変だとは思いますが、今後ともよろしく願いいたします。
- ・昨年に引き続き、コロナ禍においても子供たちのためにこの1年間大変にありがとうございました。コロナ感染対策、また、この度の感染性胃腸炎と毎日、大変な思いをされていることと存じます。子供たちが楽しく毎日学校へ通える環境が一番だと思います。子供たちの挨拶、オンライン授業、行事を生中継するなど、ICT 機器を用いながらの授業、本当にお世話になっております。富士小の子供たちの笑顔が大好きです。子供たちの様子を保護者の方と共有できていることを素晴らしいと思います。私は12月号の学校だより540号「ありがとうの言葉っていいな、友達っていいな」の校長先生の文を拝見しまして、感動いたしました。私もありがとうをいつも心の中に思っています。子供たちへの教育にとって、とっても嬉しいと思いました。来年こそ、もっともっと子供たちの賑やかな声に学校中が包まれますように祈っております。
- ・校庭で遊んでいるとき、児童の声がよく聞こえることは、児童のストレス解消になると思います。
- ・よいこと、辛いことを、任された気持ちから児童は、すすんでできることが喜びだと思います。

○生活指導

- ・挨拶の目的をきちんと教えて指導した方がよいと思います。目的が曖昧だといずれ風化してしまうのではないのでしょうか。
- ・児童は集団生活することにより、友達ができたりして、必然的に挨拶ができるようになると思います。

○学習指導

- ・分かりやすい・楽しい授業を努めている先生の努力の成果だと思います。少人数指導で先生との距離が身近になり、児

児童は分からないところを教えてもらうことができ、勉強意欲が上がると思います。

- ・「書くカトレーニング」を実施していると聞きましたが、「聞くカトレーニング」も行くとよいと思います。

○特色ある教育活動

- ・他の学年との交流から兄弟愛が数値で表れているので良いことと思います。
- ・本の選書については、聞く側にアンケートをとるのもよいのではないのでしょうか。
- ・いざ災害が発生したときに、学校で訓練したことで、児童は的確な判断ができるようになると思います。

○教育相談の充実

- ・児童が困ったときに相談場所があり、良い雰囲気により悩みを聞いてもらえる所が必要です。

○広報

- ・教員は保護者に学校の取組を伝えることにより、信頼関係ができると思います。
- ・何らかの状況により学校に行かないとき、オンラインなどにより報告ができることで、保護者の理解が得られると思います。

(4)ご意見に対する回答

ご意見をお寄せくださりありがとうございます。下記の4点について回答をさせていただきます。

※1 **子供への丁寧な見守り、面談以外に相談する機会が少ない。**

ご意見は真摯に受け止めていきたいと思っております。来年度は、担任と保護者の方が顔を合わせ、学級の様子を伝える場を増やすために、1学期末に保護者会を実施いたします。

※2 **挨拶の指導を学校でも強化してもらいたい。**

本校の生活指導は、「あいさつ・あつまり・あとしまつ」のキーワードを基に実施しており、挨拶では「相手の顔を見て、元気な声で、自分から」できるように年間を通して指導しています。具体的には、毎朝、校長、副校長が校門に立ち登校指導の際に子供たちへの挨拶、年間4回1週間ずつの挨拶運動、各学級での挨拶指導の工夫を行っています。挨拶ができる子供を育てるためにも、来年度は家庭での実践化を含めて、多様な場面での実践化を目指す取組を導入していきます。

※3 **オンライン授業**

まず、練馬区教育委員会から示されている学びの保障、オンラインを活用した学習支援について整理したいと思います。

(1) 学びの保障

- ①別室登校や放課後登校による学習支援
- ②オンラインを活用した学習支援
- ③教科書等を用いた学習課題の設定やドリルプリント等の配付(オンラインによるものを含む)と電話連絡等を併用する学習支援

(2) オンラインを活用した学習支援

やむを得ず学校に登校できない児童生徒を対象として、「放課後登校による学習支援」や「オンラインを活用した学習支援」(通常授業の配信等)を行います。

学校は、教師と児童生徒、児童生徒同士の直接的な関わり合い、多様な体験を通して学ぶ場であり、対面授業を基本としています。そのため、上記のうち「オンラインを活用した学習支援」は、感染症が一定収束するまでの間の特別な対応とします。

開始に伴い、以下の点に関してご理解いただきますようお願いいたします。

- ・カメラは教室前方に設置し、黒板付近を撮影します。
- ・映像には、児童生徒の声が入ることや、前に出て発表する際の発表者等が映ることがあります。
- ・児童生徒に貸与しているタブレット端末にて配信を行います。

上記のように、配信映像には、児童生徒の個人の顔や発言などの個人情報にあたる内容も表示されることがあるため、受信画面の撮影や、内容の録画・録音等、絶対に行うことのないようお願いいたします。受信を希望されるご家庭は学校までご連絡ください。

(3) 本校の様子

- 学級閉鎖期間は朝の会、オンライン授業(初日1時間、2日目から2時間)、帰りの会を行っています。
- 個人的に申し出があった場合は、翌日から実施しています。

(4) 今後の方向性

- 学びの保障として3種類の方法が練馬区から示されているので、お申し出があった場合はお子さんの健康状態を鑑みて、どの方法で学びの保障を行うかを学校と保護者で相談し、決定します。
- オンライン授業を行う際には、現行の時間数より多く実施する方向で考えていきます。しかし、時間割と全く同じ授業をオンラインで行うのは難しいことをご承知おきください。
- 詳細は、ただ今、検討していますので保護者会を目的に新年度計画を配付する予定です。

※4 **校外学習の充実**

来年度は中学年の遠足(電車利用、登山)を復活させる予定です。低学年の徒歩による遠足、3~6年の社会科見学は既に今年度から実施しています。安全面を精査して、状況が許す限り、校外学習の充実を図ってまいります。